

令和3年度

第2回 沖縄県地域医療対策協議会

報告事項 1

伊江村議会による県への要請について

令和4年3月

沖縄県保健医療部医療政策課

伊江村議会による県への要請について

1 要請の概要

令和4年3月22日に伊江村議会から、同年4月以降、常勤医師が2名から1名となる予定のため、診療体制の維持及び確保が懸念されるとして、地方自治法第99条の規定※により、沖縄県知事に対し「医師不足の解消を図るため、伊江村立診療所及び町村立診療所への常勤医師の安定確保に努めること」及び「医師確保に向けた情報提供を図ること」を要請する意見書の提出があった（別添「伊江村立診療所の医師確保に関する意見書」参照）。

2 県の対応方針

当面、沖縄県へき地医療支援機構に委託している代診医派遣、全国から沖縄の診療所を希望する診療所医師を募るドクターバンク事業により支援していく。

また、琉球大学医学部地域枠医師の派遣については、その派遣人数が令和2年度に5名、令和3年度に9名、令和4年度に21名と年々増加し、令和5年度以降もさらなる派遣人数の増加が見込まれるところ、伊江村立診療所も指定医療機関に含まれることから、今後、伊江村、琉球大学その他の関係機関と調整に努めたい。

※ 第99条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。

伊江村立診療所の医師確保に関する意見書

伊江村立診療所は、1960年（昭和35年）に開設し、医師の招聘、看護師や技師の確保には国や県、高次医療機関の支援・協力を得て、村民の生命と健康、離島医療を守る役割を果たしてきました。

当診療所においては、総合診療にて1日平均100名前後の外来患者と、通年の夜間を含む救急診療や高齢者施設の往診、人工透析対応など、現在、常勤医師（2名）と代診医で日々の診療業務にあたっており、これまでの離島医療の質を維持しております。

令和4年4月から常勤医師1名体制の予定となり、医師確保に向けて沖縄県及び関係機関への要請をはじめ、村ホームページによる公募など、あらゆる手段で医師確保に奔走している現状にあります。しかしながら、全国的な医師不足や新型コロナウイルス感染症対策も相まって、本村における医師確保は困難を極め、今後の医療従事者への大きな負担と住民への安心安全な医療提供ができない可能性もあり、診療体制の維持・確保が懸念されております。

沖縄県が目指す「離島力の向上」と「医療の充実」には、離島診療所の医師派遣や医師不足の解消に取り組むと明記され、このことは我々離島に暮らす住民への配慮であり、沖縄県が離島医療の充実を図るための強い意志の表れであると賢察いたします。

今後も地域住民の医療ニーズに応えるには、医師の安定確保が必須であります。

よって、離島医療の確保と住民がいつでも安心安全に診療が受けられる体制づくりに向け、沖縄県においては下記について取り組んでいただきますよう強く要請いたします。

記

1. 医師不足の解消を図るため、伊江村立診療所及び町村立診療所への常勤医師の安定確保に努めること。
2. 医師確保に向けた情報提供を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月17日

沖縄県知事
玉城康裕 殿

沖縄県伊江村議会



伊江村立診療所(医師確保)について

R4.3

〈離島医療について〉

幅広い分野の初期診療ができる「総合医」を育成することが離島医療の維持に不可欠だと考える。総合医が初期の診療を行い、入院を要する2次医療、重篤な患者を診療する3次医療につなげることが重要とみている。

【構想】

- 伊江村診療所のこれまでの医療の質を維持
- 理想は常勤医師3名確保
- 県からの定期的な派遣
- 提携できる医療機関との連携を図り、後期研修医の受入

【現状】

- ・診療所(月～金)2診体制、毎週木曜日午後(老人ホーム往診)、救急対応
 - ・常勤医師2名(阿部医師、上原医師)
 - ・代診医:月曜日(玉城医師)、火曜日(富加見医師)、月1回土日(南部徳洲会)
 - ・後期研修医(那覇市立病院)(3ヶ月)
 - ・県内外から研修医受入(月2名～3名)
- ※上記体制により常勤医師の平日1日の休暇がある。(R3.4～)

【課題】

- ・常勤医師(上原医師)がR4.3退職意向
- ・代診医:玉城医師(毎週月曜日)が不可

【これまでの医師確保について】

- ・公募による医師確保及び県立病院からの臨時派遣(S43年～S62年)
- ・S62年～防衛医大より医師の出向制度による(H3.9まで継続)
- ・沖縄県へ地域枠医師(琉大医学部)の要望(別紙)

【医師確保の取組R4.1～】

- ① R4.1月下旬から代診医の派遣要請(本島医療機関など10ヶ所)
※群星沖縄臨床研修センター基幹病院8ヶ所、那覇市立病院、北部地区医師会
- ② R4.2月上旬から常勤医師の募集(村HP、SNS移住定住、沖縄県移住定住)
- ③ 人材派遣会社との取組 R4.3月～
・転職を希望している医師をエージェントが紹介し、こちらからスカウトする方式